

「ひらかた」を 28議員が

9月定例会議では、9月15日・16日・20日・21日の4日間にわたって一般質問が行われ、28人の議員が本市の抱える諸課題について、市の考えをたずねました。質問の内容については、各議員が項目を選定の上、要約して掲載しています(そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります)。

支援教育の方針を白紙に 今後目指す方向性は

文部科学省通知に基づき、本市の支援教育の在り方を見直すこと、強硬に進められてきた方針を一転、白紙に戻すという今後の方向性を聞く。

野村生代 連合市民の会

子ども医療費助成 2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で女性の自殺者が増えたが、3年の本市の状況を聞く。

野村生代

元公園墓地用地 民間の力を取り入れ 新たな活用方法の検討を

元公園墓地用地の活用方法の検討を進める。

岡市栄次郎 大阪維新の会 枚方市議会議員

子育て支援施設 国基準どおり 毎年の実地指導を

市ホームページには、社会福祉法人等指導の実地指導方針が示されており、保育所施設の指導は原則2年に1回行うと記されている。

松岡ちひろ 日本共産党議員団

学校園における災害対策 防災ヘルメットの配備は

災害に備え、学校園における安全対策の一つとして、防災用ヘルメットを子どもや教職員へ配備するよう要望している。

山口勤 公明党議員団

4・5街区のまちづくり まずは大ホールを解体し 新庁舎整備は府と協議を

新庁舎建設位置は、財政面など将来に課題を残さない(4街区)と、府と改めて協議すべきと考える。見解を聞く。

奥野美佳 連合市民の会

子ども医療費助成 70件 粗大ごみ24件の持ち去り情報があり、増加傾向にある。防止対策として、禁止看板の配付や巡回パトロールなどを行っている。

門川 弘幸 大阪維新の会 枚方市議会議員

子ども医療費助成 18歳まで対象年齢拡大を

小児慢性特定疾病医療費助成制度(※1)認定者の医療費の自己負担割合と、所得状況に応じた自己負担の上限額は、どの程度の金額の人が多いのかを聞く。

上野尚子 公明党議員団

高齢者の権利擁護 切れ目のない支援と さらなる体制の拡充を

認知症高齢者等の権利擁護の取組推進について、重ねて質問してきた。そのうち福祉サービス利用援助事業(※5)について、待機者解消を強く求めているが、直近の契約者数、待機者数を知りたい。また、同事業とともに身元保証や死後事務のサポートを実施しているか。

鍛冶谷知宏 大阪維新の会 枚方市議会議員

枚方版ナッジユニットで 組織体質等の改善を

行動科学の見地から、自発的に望ましい行動が取れるよう人を後押しする政策手法のナッジ(※16)が活用されている。本市でも省エネ啓発など環境分野でナッジを活用している。また、組織体質や職場環境の改善、ひいては市民サービス向上につながる「枚方版ナッジ・ユニット」を設置して、ナッジを全庁的な取組とすべきだが、見解を聞く。

藤田幸久 公明党議員団

地域活性化支援センター 多様な働き方へ テレワークの環境整備を

これまで、コロナ禍における多様な働き方の定着促進へ、公共施設におけるテレワークの環境整備を求めている。また、同ルームは、要件緩和で新たなことなっている。今後アンケータ調査等でニーズ把握に努め、時間や場所を柔軟に活用できるなど、仕事と生活の調和を図ることが可能になる。現在、市の地域活性化支援センターでその環境整備を進めているというが、現状を聞く。

有山正信 公明党議員団

枚方の支援教育 迷走し混乱させた市長等 特別職の責任を問う

今回の支援教育の見直しは、子ども、保護者や学校現場、議会との対話もなく唐突に打ち出された。市長や教育長は、その重大性を反省し、深い責任の取り方を自らに課す必要がある。見解を聞く。

前田富枝 自由民主党枚方創政会

※16 国が定めたナッジとは、行動科学に基づき、自発的に望ましい行動を取れるよう人を後押しする政策手法のこと。

子ども医療費助成 70件 粗大ごみ24件の持ち去り情報があり、増加傾向にある。防止対策として、禁止看板の配付や巡回パトロールなどを行っている。

門川 弘幸 大阪維新の会 枚方市議会議員

子ども医療費助成 18歳まで対象年齢拡大を

小児慢性特定疾病医療費助成制度(※1)認定者の医療費の自己負担割合と、所得状況に応じた自己負担の上限額は、どの程度の金額の人が多いのかを聞く。

上野尚子 公明党議員団

高齢者の権利擁護 切れ目のない支援と さらなる体制の拡充を

認知症高齢者等の権利擁護の取組推進について、重ねて質問してきた。そのうち福祉サービス利用援助事業(※5)について、待機者解消を強く求めているが、直近の契約者数、待機者数を知りたい。また、同事業とともに身元保証や死後事務のサポートを実施しているか。

鍛冶谷知宏 大阪維新の会 枚方市議会議員

枚方版ナッジユニットで 組織体質等の改善を

行動科学の見地から、自発的に望ましい行動が取れるよう人を後押しする政策手法のナッジ(※16)が活用されている。本市でも省エネ啓発など環境分野でナッジを活用している。また、組織体質や職場環境の改善、ひいては市民サービス向上につながる「枚方版ナッジ・ユニット」を設置して、ナッジを全庁的な取組とすべきだが、見解を聞く。

藤田幸久 公明党議員団

地域活性化支援センター 多様な働き方へ テレワークの環境整備を

これまで、コロナ禍における多様な働き方の定着促進へ、公共施設におけるテレワークの環境整備を求めている。また、同ルームは、要件緩和で新たなことなっている。今後アンケータ調査等でニーズ把握に努め、時間や場所を柔軟に活用できるなど、仕事と生活の調和を図ることが可能になる。現在、市の地域活性化支援センターでその環境整備を進めているというが、現状を聞く。

有山正信 公明党議員団

枚方の支援教育 迷走し混乱させた市長等 特別職の責任を問う

今回の支援教育の見直しは、子ども、保護者や学校現場、議会との対話もなく唐突に打ち出された。市長や教育長は、その重大性を反省し、深い責任の取り方を自らに課す必要がある。見解を聞く。

前田富枝 自由民主党枚方創政会

子ども医療費助成 70件 粗大ごみ24件の持ち去り情報があり、増加傾向にある。防止対策として、禁止看板の配付や巡回パトロールなどを行っている。

門川 弘幸 大阪維新の会 枚方市議会議員

子ども医療費助成 18歳まで対象年齢拡大を

小児慢性特定疾病医療費助成制度(※1)認定者の医療費の自己負担割合と、所得状況に応じた自己負担の上限額は、どの程度の金額の人が多いのかを聞く。

上野尚子 公明党議員団

高齢者の権利擁護 切れ目のない支援と さらなる体制の拡充を

認知症高齢者等の権利擁護の取組推進について、重ねて質問してきた。そのうち福祉サービス利用援助事業(※5)について、待機者解消を強く求めているが、直近の契約者数、待機者数を知りたい。また、同事業とともに身元保証や死後事務のサポートを実施しているか。

鍛冶谷知宏 大阪維新の会 枚方市議会議員

枚方版ナッジユニットで 組織体質等の改善を

行動科学の見地から、自発的に望ましい行動が取れるよう人を後押しする政策手法のナッジ(※16)が活用されている。本市でも省エネ啓発など環境分野でナッジを活用している。また、組織体質や職場環境の改善、ひいては市民サービス向上につながる「枚方版ナッジ・ユニット」を設置して、ナッジを全庁的な取組とすべきだが、見解を聞く。

藤田幸久 公明党議員団

地域活性化支援センター 多様な働き方へ テレワークの環境整備を

これまで、コロナ禍における多様な働き方の定着促進へ、公共施設におけるテレワークの環境整備を求めている。また、同ルームは、要件緩和で新たなことなっている。今後アンケータ調査等でニーズ把握に努め、時間や場所を柔軟に活用できるなど、仕事と生活の調和を図ることが可能になる。現在、市の地域活性化支援センターでその環境整備を進めているというが、現状を聞く。

有山正信 公明党議員団

枚方の支援教育 迷走し混乱させた市長等 特別職の責任を問う

今回の支援教育の見直しは、子ども、保護者や学校現場、議会との対話もなく唐突に打ち出された。市長や教育長は、その重大性を反省し、深い責任の取り方を自らに課す必要がある。見解を聞く。

前田富枝 自由民主党枚方創政会

子ども医療費助成 70件 粗大ごみ24件の持ち去り情報があり、増加傾向にある。防止対策として、禁止看板の配付や巡回パトロールなどを行っている。

門川 弘幸 大阪維新の会 枚方市議会議員

子ども医療費助成 18歳まで対象年齢拡大を

小児慢性特定疾病医療費助成制度(※1)認定者の医療費の自己負担割合と、所得状況に応じた自己負担の上限額は、どの程度の金額の人が多いのかを聞く。

上野尚子 公明党議員団

※16 国が定めたナッジとは、行動科学に基づき、自発的に望ましい行動を取れるよう人を後押しする政策手法のこと。

児童相談所の設置 人材確保の観点から 速やかな判断を

痛ましい児童虐待事件が多く発生する中、本市における虐待事件が大きく報道された。国では中核市へ児童相談所設置を促す動きがあるが、設置に向けた見解を聞く。

妹尾正信 改革市民の会

市街地調整区域にかかる 都市計画税の見直しを

市街地調整区域(※19)の居住者も市街地調整区域と同様の行政サービスを受けたいという要望がある。見解を聞く。

妹尾正信

長尾駅周辺のまちづくり 市が地元組織へ支援を

整備が進む長尾駅周辺地区について、策定したまちづくり構想の対象面積が約95ヘクタールと非常に広い。地元組織も多岐にわたる。見解を聞く。

長友克由 自由民主党枚方創政会

子ども医療費助成 70件 粗大ごみ24件の持ち去り情報があり、増加傾向にある。防止対策として、禁止看板の配付や巡回パトロールなどを行っている。

門川 弘幸 大阪維新の会 枚方市議会議員

子ども医療費助成 18歳まで対象年齢拡大を

小児慢性特定疾病医療費助成制度(※1)認定者の医療費の自己負担割合と、所得状況に応じた自己負担の上限額は、どの程度の金額の人が多いのかを聞く。

上野尚子 公明党議員団

高齢者の権利擁護 切れ目のない支援と さらなる体制の拡充を

認知症高齢者等の権利擁護の取組推進について、重ねて質問してきた。そのうち福祉サービス利用援助事業(※5)について、待機者解消を強く求めているが、直近の契約者数、待機者数を知りたい。また、同事業とともに身元保証や死後事務のサポートを実施しているか。

鍛冶谷知宏 大阪維新の会 枚方市議会議員

枚方版ナッジユニットで 組織体質等の改善を

行動科学の見地から、自発的に望ましい行動が取れるよう人を後押しする政策手法のナッジ(※16)が活用されている。本市でも省エネ啓発など環境分野でナッジを活用している。また、組織体質や職場環境の改善、ひいては市民サービス向上につながる「枚方版ナッジ・ユニット」を設置して、ナッジを全庁的な取組とすべきだが、見解を聞く。

藤田幸久 公明党議員団

地域活性化支援センター 多様な働き方へ テレワークの環境整備を

これまで、コロナ禍における多様な働き方の定着促進へ、公共施設におけるテレワークの環境整備を求めている。また、同ルームは、要件緩和で新たなことなっている。今後アンケータ調査等でニーズ把握に努め、時間や場所を柔軟に活用できるなど、仕事と生活の調和を図ることが可能になる。現在、市の地域活性化支援センターでその環境整備を進めているというが、現状を聞く。

有山正信 公明党議員団

枚方の支援教育 迷走し混乱させた市長等 特別職の責任を問う

今回の支援教育の見直しは、子ども、保護者や学校現場、議会との対話もなく唐突に打ち出された。市長や教育長は、その重大性を反省し、深い責任の取り方を自らに課す必要がある。見解を聞く。

前田富枝 自由民主党枚方創政会

子ども医療費助成 70件 粗大ごみ24件の持ち去り情報があり、増加傾向にある。防止対策として、禁止看板の配付や巡回パトロールなどを行っている。

門川 弘幸 大阪維新の会 枚方市議会議員

子ども医療費助成 18歳まで対象年齢拡大を

小児慢性特定疾病医療費助成制度(※1)認定者の医療費の自己負担割合と、所得状況に応じた自己負担の上限額は、どの程度の金額の人が多いのかを聞く。

上野尚子 公明党議員団

高齢者の権利擁護 切れ目のない支援と さらなる体制の拡充を

認知症高齢者等の権利擁護の取組推進について、重ねて質問してきた。そのうち福祉サービス利用援助事業(※5)について、待機者解消を強く求めているが、直近の契約者数、待機者数を知りたい。また、同事業とともに身元保証や死後事務のサポートを実施しているか。

鍛冶谷知宏 大阪維新の会 枚方市議会議員

枚方版ナッジユニットで 組織体質等の改善を

行動科学の見地から、自発的に望ましい行動が取れるよう人を後押しする政策手法のナッジ(※16)が活用されている。本市でも省エネ啓発など環境分野でナッジを活用している。また、組織体質や職場環境の改善、ひいては市民サービス向上につながる「枚方版ナッジ・ユニット」を設置して、ナッジを全庁的な取組とすべきだが、見解を聞く。

藤田幸久 公明党議員団

地域活性化支援センター 多様な働き方へ テレワークの環境整備を

これまで、コロナ禍における多様な働き方の定着促進へ、公共施設におけるテレワークの環境整備を求めている。また、同ルームは、要件緩和で新たなことなっている。今後アンケータ調査等でニーズ把握に努め、時間や場所を柔軟に活用できるなど、仕事と生活の調和を図ることが可能になる。現在、市の地域活性化支援センターでその環境整備を進めているというが、現状を聞く。

有山正信 公明党議員団

※16 国が定めたナッジとは、行動科学に基づき、自発的に望ましい行動を取れるよう人を後押しする政策手法のこと。